

No	5 2			
一般名 (英名)	ポリ臭化ビフェニル(Polybrominated biphenyls)			
略 名	PBBs ; polybromobiphenyls	CAS No.	67774-32-7 59536-65-1	
化学名				
【化学構造式】				
				
分子式	主成分は C ₁₂ H ₄ Br ₆ (C ₁₂ H ₉ Br ~ C ₁₂ Br ₁₀)	分子量	主成分 (627.59)	
物性等	外観等	白色固体 (C ₁₂ H ₄ Br ₆)		
	融点(沸点)	C ₁₂ H ₄ Br ₆ : mp 72, 119-121 C ₁₂ H ₂ Br ₈ : mp 200-250 C ₁₂ Br ₁₀ : mp 380-383	蒸気圧	C ₁₂ H ₄ Br ₆ : 7.6 x10 ⁻⁵ mmHg (90)
	水溶解性	< 0.1g/100ml (18) 不溶 C ₁₂ H ₄ Br ₆ : 水 11 μ g/Kg C ₁₂ H ₂ Br ₈ : 水 20-30 μ g/Kg	オクタン/水分配係数	Log Pow =
	有機溶解性	ベンゼン、トルエンに易溶		
		紫外線で分解		
毒性等	急性毒性	LD ₅₀ 21.5g/kg(ラット, 経口)	ADI (mg/kg/ 日)	
	特殊毒性	発癌性, 催奇形成		
用途等	難燃剤	生産量		
規制等				
【備考】 PBBs はビフェニルの臭素化混合物で, 臭素の数, 位置により多くの成分が存在する。主成分として 2,2',4,4',5,5'-hexabromobiphenyl (mp 119-121) などがある。 米国では, 1973 年 " ミシガン事件 " が発生したが, これはミシガン州で飼料にポリ臭化ビフェニル(商品名: BP-6)が酸化マグネシウムと誤って混入したものである。食物連鎖を引き起こし, 汚染された何百頭の家畜(畜牛) が広範囲に病死したため, 市場から BP-6 は姿を消した。				